

# 【広島市消費者物価指数】

## 1 平成24年8月の動向

- 広島市総合指数（99.5）は前月比で同水準。前年同月比は3か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.8）は前月比で同水準。前年同月比は4か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.8）は前月比で4か月連続の下落。前年同月比は12か月連続の下落。

## 2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	99.5	0.0	▲0.6
生鮮食品を除く総合指数	99.8	0.0	▲0.6
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.8	▲0.3	▲0.9

## 3 前月からの動き

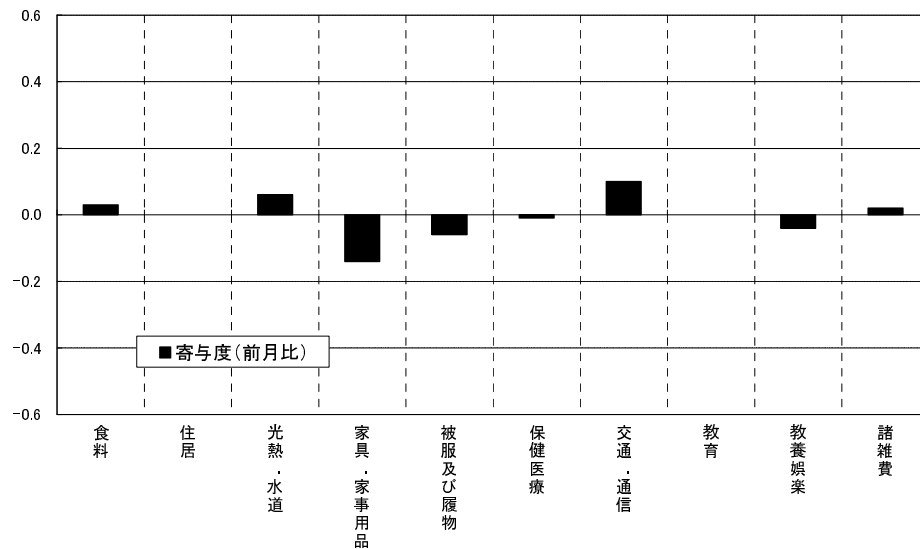
～交通・通信は上昇、家具・家事用品は下落。～

### (1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	99.5	98.8	99.3	106.8	93.5	98.5	99.0	101.1	98.4	96.2	103.0
前月比 (%)	0.0	0.1	0.0	0.8	▲3.6	▲1.4	▲0.1	0.7	0.0	▲0.4	0.3
寄与度	0.0	0.03	0.00	0.06	▲0.14	▲0.06	▲0.01	0.10	0.00	▲0.04	0.02

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目  
 交通・通信：自動車等関係費（前月比 0.7%，寄与度 0.05）等  
 家具・家事用品：家庭用耐久財（前月比 ▲7.1%，寄与度▲0.10）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
教養娯楽サービス (宿泊料 等)	2.8%	教養娯楽用耐久財(テレビ 等)	▲12.4%
魚介類(えび 等)	3.1%	家庭用耐久財(ルームエアコン 等)	▲7.1%
交通 (航空運賃 等)	2.1%	野菜・海藻 (トマト 等)	▲3.3%
電気代 (電気代 等)	1.4%	シャツ・セーター類(婦人セーター[半袖] 等)	▲5.2%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	0.7%	洋服 (スカート [春夏物] 等)	▲0.9%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道が上昇し、教養娯楽が下落。～

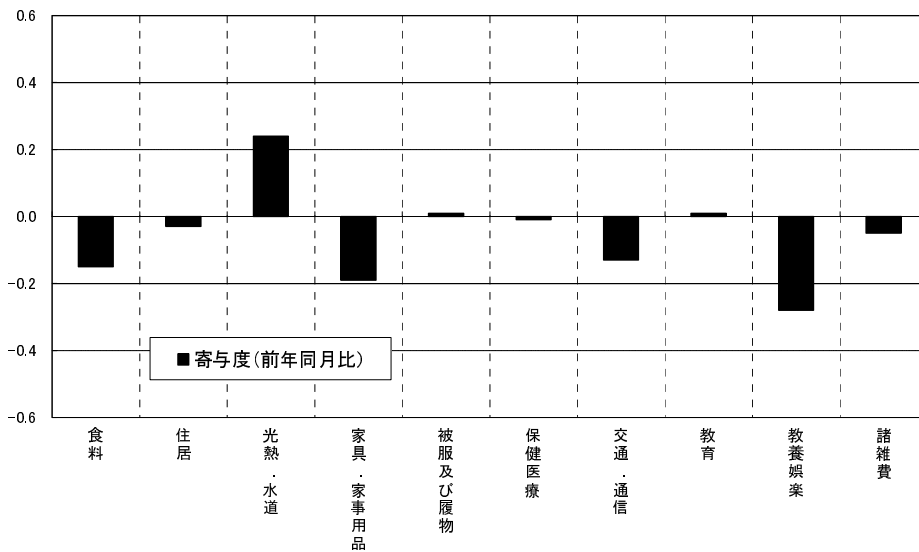
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.2	3.1	▲ 4.8	0.2	▲ 0.2	▲ 0.9	0.2	▲ 2.5	▲ 0.8
寄与度	▲ 0.6	▲ 0.15	▲ 0.03	0.24	▲ 0.19	0.01	▲ 0.01	▲ 0.13	0.01	▲ 0.28	▲ 0.05

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

光熱・水道：電気代 (前年同月比 4.6%, 寄与度 0.17) 等  
 教養娯楽：教養娯楽用耐久財 (前年同月比 ▲11.2%, 寄与度 ▲0.19) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
電気代 (電気代 等)	4.6%	教養娯楽用耐久財(テレビ 等)	▲11.2%
魚介類 (えび 等)	4.6%	家庭用耐久財 (電気冷蔵庫 等)	▲10.4%
ガス代 (都市ガス代 等)	4.1%	野菜・海藻 (トマト 等)	▲5.0%
設備・修繕維持 (ルームエアコン取付け料 等)	1.7%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.5%
洋服 (背広服[夏物, 中級品] 等)	2.2%	通信 (携帯電話機 等)	▲1.9%